

【ステップ18 関係】

北海道北広島市は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、一事業者当たり1,000万円以上の支援を実施することについて、令和3年2月2日付け内閣府地方創生推進室事務連絡「3. 臨時交付金の活用にあたっての留意点について」の「特定の事業者等に対する支援措置」に記載されているとおり、次のとおり事業内容を公表します。

事業名	地域公共交通事業者感染症対策事業（うち生活バス路線運行継続緊急支援金交付事業）		
総事業費 （千円）	30,000千円	交付金関連事業費 （交付対象経費） （千円）	30,000千円
事業概要	<p>目的 地域住民の生活や経済活動を支えるための地域公共交通において、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業の継続を支援するため、地域公共交通事業者に対し、支援金を交付する。</p> <p>交付金を充当する経費・算定根拠 【支援金】：30,000千円 ・さんばまち・東部線の3密を避けた運行支援(北海道中央バス株式会社1社)：30,000千円</p> <p>交付対象 1) 交付対象者 いずれにも該当するバス路線を運行する乗合バス事業者とする (1)路線内系統の起点、終点及び運行経路が本市の区域内にあるものであること。 (2)日常生活のために必要なバス路線の大幅な減便や運休をせず密を避けたバス路線を運行する乗合バス事業者 北海道中央バス株式会社が運行する「さんばまち・東部線」が該当</p> <p>2) 交付対象者の選定理由・選定方法 北海道中央バス株式会社が運行する「さんばまち・東部線」は、令和元年10月に一般市民を含む北広島市地域公共交通活性化協議会の審議を踏まえて再編した路線であり、北広島駅を中心とした北広島団地地区及び東部地区を運行している市内完結路線である。新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者数は大幅に減少しているが、地域公共交通の安定的な運行及び市民生活に欠かすことのできないバス路線であることから、運行維持に対する支援金を交付するものである。</p> <p>期待される効果 「さんばまち・東部線」の持続的な運行</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>生活バス路線運行継続緊急支援金交付事業の対象となる北海道中央バス株式会社が運行する「さんばまち・東部線」は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、利用者が大幅に減少しており、感染症の拡大前と比較すると3割程度の減少となっており、今後も感染拡大前に戻ることが見込まれない状況であり、このままでは、大幅な減便など事業継続の困難が予想される。</p> <p>そのため、北海道中央バス株式会社を交付対象者として支援金を交付し、さんばまち・東部線の運行継続を支援する本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業である。</p>		